

公民館だより

No. 101

ひがしの

2007. 12.

人口 1,848 人
(男) 908 人
(女) 940 人
世帯数 592 戸
(H19.12.1 現在)



仁者楽山

康子



楽しい墨絵の会 会員 脇山 康子 画
水墨画による『ミミズク』

ミミズクとフクロウは同じ仲間で、はっきりとした区別はない。頭部の上方に突きでた耳のように見えるものを羽角（うかく）というが、羽角のない種をフクロウ、羽角のある種をミミズクと呼んでいる。(Wikipedia)

知者楽水、仁者乐山—「知者は（水の流れのように）動き、仁者は（山のように）静かなり」『論語』

第32回住民ふれあい体育祭

とき 10月21日(日)
ところ 東野小学校グラウンド

東野住民ふれあい体育祭を終えて

体育祭運営委員長 水野泰正

爽やかな秋晴れの十月二十一日(日) 体育祭が開催されました。

全自治会から多くの住民の皆さんにご参加いただき誠に有難うございました。園児から、小学生、成人、高齢者の皆様まで広く住民のみなさんご参加を得、自治会の枠を超えて楽しく交流していただき「ふれあい体育祭」にふさわしい意義ある体育祭となりました。

競技の運営も住民の皆さん、役員の皆さんの御協力により順調に進行することができましたことを改めてお礼申し上げます。

第一回から十五回まで、体育協会の役員として運営に携わってきましたが、今回久しぶりに運営に参加してみて時代の変化からくる変革著しいところを感じました。

回を重ね今年で第三十二回を迎えましたが、伝統的な東野歌舞伎が無くなった昭和四十年代、「東野のお祭りが無くなつて寂しい」との声を受けて、有志の方、体育協会役員の方々が中心となつて第一回東野運動会が開かれたのが昭和五十年頃でした。

当初は上組下組が紅軍白軍に別れ、得点を競う競技中心の種目でしたから、特に年代別リレー、紅白リレーは白熱し盛り上がりがありました。

しかし、「今年こそ優勝旗はわが軍に」と得点争いのこだわりからくる弊害が始めたこと、次第に高齢者が増えてきたことなどから得点競技中心だった種目の見直しが必要になることに検討されてきました。

体育祭が東野のお祭りとして定着し、自治連合会主

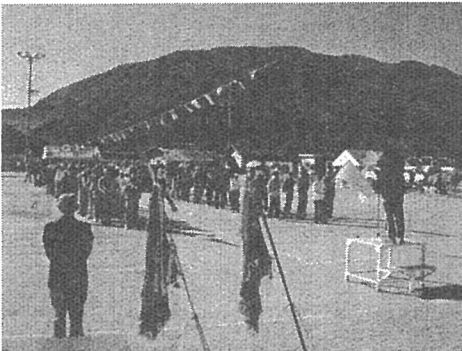
催となり、現在はあるべく得点にこだわらなくて、若年者から高齢者までたくさんの人に楽しくゲーム感覚で参加できる種目に変わってきました。名称も多くの人とふれあえるようにと第二十九回から、「ふれあい体育祭」となりました。

今年も幼稚園児、小学生の参加を学校側にお願いたとところ、快く引き受けていただき感謝申し上げます。東野の将来を担う子供たちの活発な競技や演技をするわが子を、カメラで追っかける父兄やおじいちゃん、おばあちゃんの楽しげな姿が見られました。

恵那市の他の地域では運動会が取りやめとなり、ハイキングなど変わつてきている所もある時代ですが、東野にあつてはこれからも自治会の皆さんが協力し合つて住民が一同に会し、ふれあえる体育祭を続けて行こうということになりました。

また、「今年の商品は良いものをもらえた」との声もいただきましたので、次回は更に内容の充実したものにしていくことになりました。

最後になりましたが、体育祭の準備、運営、片付けをしていただきました自治会長、体育協会役員、体育推進委員、開発振興会役員の皆様、誠に有難うございました。



第32回住民ふれあい体育祭種目プログラム

午 後 の 部		
NO	種 目	出 場 者
⑭	マレットダーツ	男 女
15	玉入れ	小学生・東雲会連合会
16	大玉運び	60才以上・幼児
⑰	綱引き	女 子
18	ひやひやリレー	女 男 女 女
19	打上回収	男 男 女 女
⑳	紅白リレー	男 男 女 女



午 前 の 部		
NO	種 目	出 場 者
1	綱引き	小・中学生
2	かけっこ	幼稚園以下
③	マレットダーツ	60才以上男女
4	お遊戯	東野幼稚園児
⑤	玉入れ	女 子
6	パン食い競争	各種団体長
7	おいかけ玉入れ	小学校(1・2・3年生)
8	ムカデ競争	男 女
9	東野ギネスに挑戦(くつ飛ばし)	小 学 生
⑩	綱引き	男 子 女 子
11	宇宙遊泳	男 女
12	おいかけ玉入れ	小学校(4・5・6年生)
13	東野音頭	全 員



寄稿 「2007文化祭を終えて」

この秋、一連の文化祭行事が多くの人々の参加を得て終わった。

東野の文化祭は25～26年の歴史を持つと思われる。

歌舞伎—以前は個別の「催し」として公演されていたが5～6年前から文化祭の1部門に組み入れられ、これにより地域一体感が生じた感がある。保存会の方々使命感、役者、裏で支える人々、地域内の協力金、祝儀、こうした皆様の総合力があつて幕が開く。励ましの喝采とおひねり――舞台と客席との一体感。

音楽祭—平成8～9年から歌舞伎同様別の日程で青少年育成会議主催として始まったと記憶する、内容は小学生の合唱、公民館でのコーラスグループの発表、合わせて地域の音楽家の演奏などで続けられてきたが、今ではプロの音楽家を招請して「東野の音楽祭」として地域内外に期待されることとなった。

年々新しく、珍しい楽器での演奏、小学生も以前より多くのお客さんの中で、適度の緊張の中で歌い、楽しい思い出になったのでは…。これは地域において音楽の精通者の存在と参画に恵まれて芽生え、12回という歴史を重ね大きく育ったといえよう。

展示部門—屋外でのバザー、館内では菊の香-「文化の日」の感がある。

特別展とした「東野地域づくり写真展」—今後東野を紹介するマップづくりに使用する写真の展示、史跡、四季の植物、新しい東野の発見、紹介である。

「昭和30年代の暮らし」今年「衣」である、2階和室いっぱい展示された和洋服——慶事、作業、くつろぎ—生活の知恵から考えられた「衣」、よくもこれだけ大切に保存されたものと感嘆、でもまだまだ埋もれていると聞く、いつまでも残したい文化財である。収集に奔走頂いた東雲会の皆様に感謝申し上げます。

2階では書、画、写真、いけばな、パッチワーク等工芸作品、幼稚園児の親子作品、小学生の陶作品。

歌舞伎は限られた日数のなかでの稽古に励まれた役者、仕事を終えて駆け付けていただいた裏方の皆さん、音楽祭に至るまでの事前の出演者交渉、調整いただいた音楽担当永野様、四回にわたる実行委員会、みんなの力、天候にも恵まれ音楽祭には約350名今までで最も多くの席が埋まったと思われる、たんぼぼ作業所の皆さんによる「恵那の祭り太鼓」熱演について涙腺が緩む。歌舞伎会場の熱気、公民館の展示物、2日間で1000名以上の参観を頂いた。「初めて来たがこんなにいい催しとは…」の声。

誰かが「やる時はやる。」楽しく、東野が動いた秋でした。

ありがとうございました。

(文責—文化祭実行委員長 千藤恵三)

《展示》

11月3日(土) 9:00～18:00

11月4日(日) 9:00～16:00

会場 東野公民館

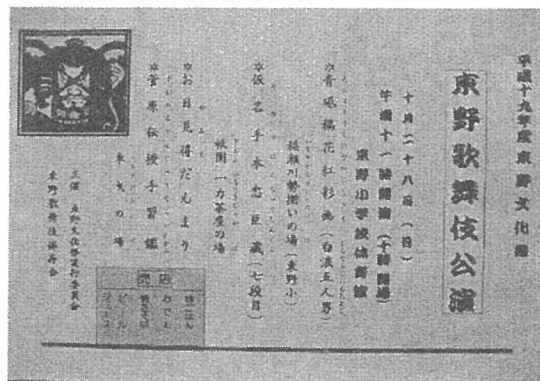
絵画、書道、水墨画、写真、園児・児童、東雲会
の作品、(ﾌﾟﾘﾝﾄﾞ ﾜｰｸ、実用書道、ｱﾒﾘｶﾊﾞｯｼｰｸ)、
いけばな、大輪菊、花など

《特別展示》

『昭和30年代の(衣)について暮らしの様子
時代を表す服装と子どもの玩具とその遊び』

『東野地域づくりの写真展』

地域マップづくり、地域振興委員会活動写真等



《ふれあい音楽祭》

11月4日(日) 13:30開演

会場 東野小学校体育館

「青の琴星」二胡、胡弓と

シンセサイザー演奏

「恵那のまつり太鼓」の太鼓演奏

東野小学校5,6年生合唱

主な曲目

1部

いつも何度でも 星に願いを

小さい秋見つけた、他

2部

草原情歌 蘇州夜曲

ファブカ「チャングムの誓い」テーマ

<津軽三味線>

「風林火山」テーマ じょんがら節 曲弾



青の琴星の二胡の演奏



小学生の白浪五人男



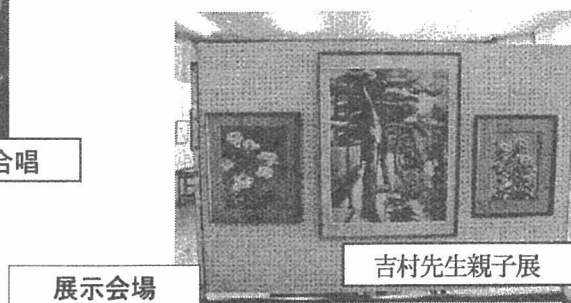
小学生の合唱



菅原伝授手習鑑



恵那まつり太鼓の演奏



展示会場

吉村先生親子展



特別展昭和30年代の「衣」



東野乳幼児学級

“すくすくクラブ”が
東野幼稚園を訪問しました。

11月30日とてもよい天気めぐまれました。
すくすくクラブの乳幼児さん7人が東野幼稚園の黄
組さん、桃組さん、緑組さんのお兄さんお姉さんたち
を訪問し、午前中のひと時を楽しみました。



元気にあいさつ
おはようございます。



ありがとう



まーるく輪になり 仲良くお遊戯

幼稚園のお兄さん、お姉さんがワンちゃんのおもちゃをプレゼントしてくれました。

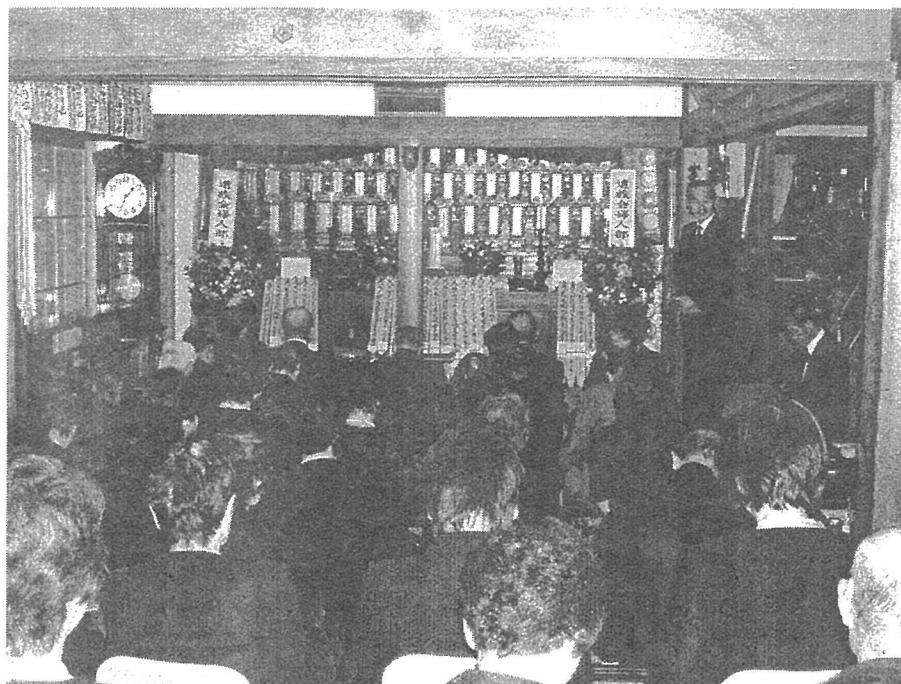


戦没者秋季慰霊祭開催される

10月5日、東野戦没者遺族会主催の秋季の戦没者慰霊祭が、宗久寺の戦没者のご位牌の前で厳かにとり行われました。

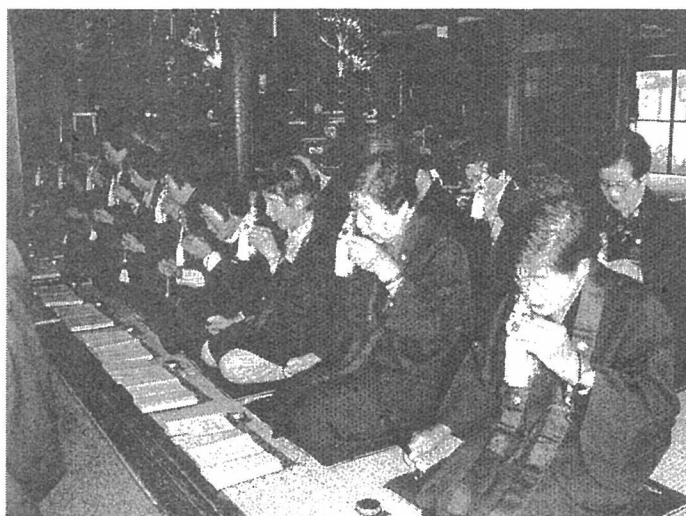
ご遺族ならびに、各会のご来賓の参列の中、恵那市遺族会会長市川孝太郎様はじめ千藤開発振興会会長、光岡恵那市議会議員、伊藤郷友会会長から、それぞれから丁寧な追悼ことばがかけられました。

千藤恵二会長からは、「東野の95名が太平洋戦争



でなくなられ、お墓の墓標が、ご遺族の方が申し合わされて同じ形の墓標でつくられた。また、当時まだ蛭川等の石がなく、岡崎の石屋でつくられたこと。昭和49年5月に建立された東野小学校脇の戦没者慰霊塔は一戸10円ずつの寄付と村のお金でたてられたと聞いています。」とお話の後、追悼の言葉をおくれました。

御和讃、和尚さまの読経、一同の焼香、御詠歌とつづき、東野戦没者遺族会会長伊藤宮夫さんの御礼のことばがありました。



保古の湖 城ヶ峰神社の祭典が

10月20日(土) 東野生産森林組合役員の方々により、千藤開発振興会会長はじめ来賓の方々出席のもとで行われました。渡辺宮司さんによる神事が厳かに行われ、光岡東野生産森林組合長が「東野の先輩たちが残されたこの広大な森林資源を守つてくださる城ヶ峰神社の、年に一度の祭典を行うことができ御礼を申しあげます。」と挨拶されました。

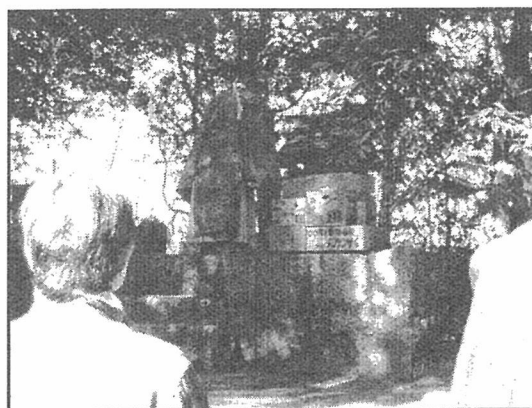
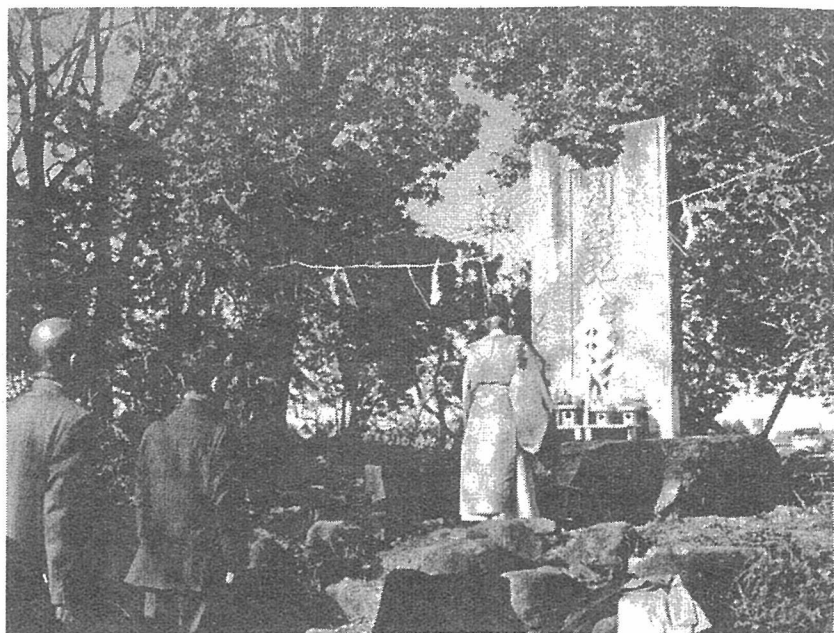
この神社は、小野川から保古の湖へ登る途上であり、保古の湖から少し下った曲がり角に鳥居があり、これをくぐって丘陵を少し上るとお社があります。



東野開墾記念碑、豊受天神祭典執り行われる。

平成19年11月23日。今日の豊かな食物と豊饒に感謝して祭典と餅投げが行われました。

しかし、開墾記念碑と戦役記念碑の建つこの辺りが道路交差点改良工事となるに当たり、やむなく、この開墾記念碑と戦役記念碑を移転することになりました。開墾記念碑は大正10年東野耕地整理組合が設立され、保古の湖工事と開墾事業が進められることになり、保古の湖工事は難工事であったが、数年後に完成され、それに続いて開墾事業に移り、地元住民の力を結集して、汗水を流し、あらゆる困難を乗り越えて、新田



百町歩の開墾大
事業が成し遂げ
られました。

これにより、
大量の米が増産
され、食生活が
安定し、生活が
豊かになり、そ
して、時を経て
戦後の昭和23
年、当時の東野
青年団の発案に
より、この開墾
事業の業績を永
遠に後世に伝え

ますますの繁栄を念願して80余名が主体となり翌年の昭和24年9月開墾記念碑がここに建立されたものであります。

そしてこの開墾記念碑の斜め後ろに立つ戦役記念碑は、明治27・28年の日清戦争に参加し、無事帰還された方々を記念し、明治29年に建てられ、今日まで戦役が称賛されてきたのであります。

この度、両記念碑ともに移転の運びとなり、祭典とともに移転工事の安全祈願も行うことになりました。

祭典・祈願後
千藤開発振興会
長は参加者（当

時の青年団員六名を含む）へのお礼の言葉に続いて次のように述べられました。
「交差点改良工事が昨年恵那市で用地買収が終わり、19年度に事業が完成します。歩道付の11mの道路が完成するために、二碑が移転することになりました。世話人は終局、開発振興会が窓口になって受けてきました。補償は恵那市が道路工事として行います。この補償を受けて、施工者は3業者の指名競争をしていただき、「躍進」が受け、施工いたします。移転先が保安林であり、林野庁とに折衝が続きましたが終結し、まずは移転して道路工事発注はその後になります。記念碑移転は年内の予定です。」



餅投げ

東野小学校運動会

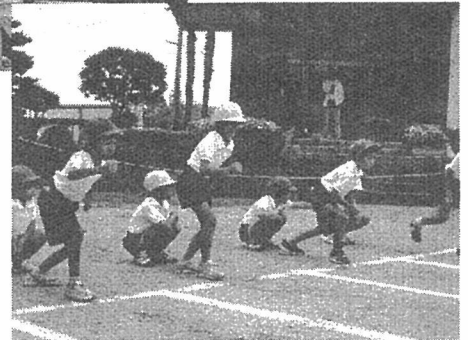
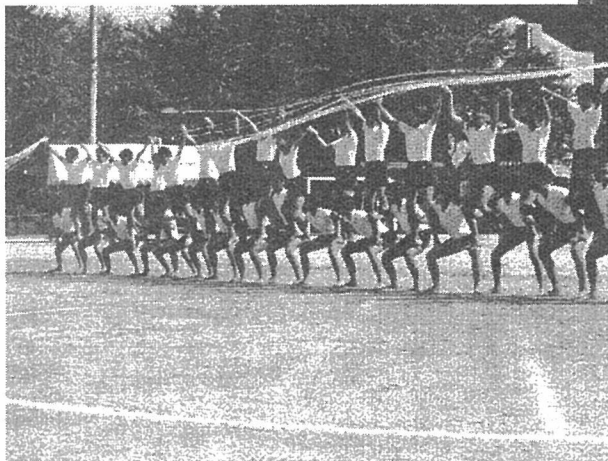
みんな 力 合わせて91人：がんばりました。

9月29日(日)東野小学校運動会が行われました。校長先生が開会式の挨拶で「力を合わせ、心を合わせ取り組んできたすばらしい姿を発揮してください。」と児童たちを激励されました。そして、次に六年生の土方優奈さんが全校児童を代表して、「今日は待ちに待った運動会です。今年はいつともより練習量が少なかったけれど、全校のみんなががんばって練習してきたので、いい運動会になると思います。今日の運動会のスローガンは6年生の長谷川彩さんの考えた『力 合わせて 91人』です。このスローガンには全校のみんなが力いっばい運動会に取り組んで欲しいという願いが込められています。練習の成果を出して、悔いのない運動会にしましょう。」と力強く挨拶し、競技が始まりました。

途中、天候が悪くなり、後日に回せる一部の競技を残して終了し、10月2日(火)に実施され、平日ですが、多くの保護者の皆さんの応援がありました。

東野小学校校報から、

子ども達は、今までの練習成果を生かし、一人一人が持つ力を精一杯発揮することが出来ました。特に、高学年の子ども達が、進んで協力し、率先して体を動かし活動していたことが印象的でした。低学年の子ども達も、高学年の子ども達に学び、力を合わせ、頑張って取り組み、嬉しく思いました。子ども達には、みんなが進んで働き、力を合わせて頑張ると、一人一人が今まで以上の力を発揮して、いっそう大きく成長することを胸に刻み、勉強でも、合唱でも、運動でも、掃除でも、頑張ることを願っています。よりよい生き方を求めて頑張ろうとする前向きな姿勢を大切にしたいものです。



東野小学校は11月10日(土)を学校開放日として保護者や地域の方々に開放しました。

岐阜県では11月1日から14日の間を岐阜県教育週間として、学校教育活動の様子を地域の皆様に広く知っていただき、地域の力を学校にということを目的に、公開日を設定するように定めています。

この日、東野小学校では午前中、1年生から4年生まで、畑で作ったサツマイモを洗ったり、アルミホイルで包んだりと焼きいもの準備を行い、その後授業参観をしていただきました。

5年生は学校田で収穫したお米を使って、根の上のキャンプ体験学習、家庭科で学んだ炊飯を活かし、全校と地域の皆さんのご飯を炊きました。

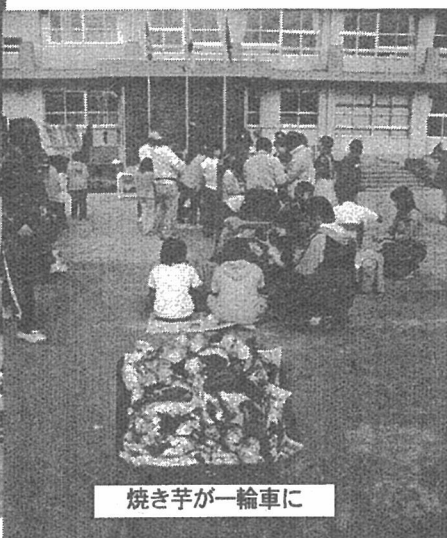
6年生は5年生のときに三郷ファクトリーの方々の指導の下で仕込んだ恵那味噌を使って家庭科の学習を生かし、味噌汁を作りました。今年の特徴は、それぞれの学年が役割を持ち、学習の成果を生かし、工夫、協力したことです。

11時からの収穫祭では、焼きいも、おにぎり、味噌汁を地域の方々、仲良しグループ、幼稚園児、保護者、みんなでおいしくいただきました。



味噌汁作り
ご飯炊き

収穫祭の準備ができました。



焼き芋が一輪車に

とても、マナーの良い児童たちで出席者の皆さん感心してみえました。

東野の依馬英子さんが教育長賞を受賞される

第50回恵那市美術展の日本画の部で、

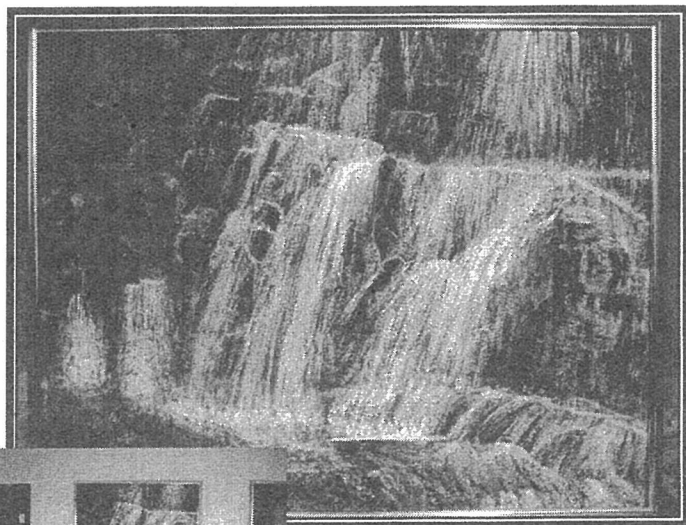
みだしの美術展が10月28日(日)～11月3日(土)、会場 恵那文化センター (財)恵那市文化振興会の主催で開催されました。

依馬英子さんの作品は50号で岩絵の具をつかって描かれています。

画題は「御岳の滝」でこの6月の雨が降っている中での無名と思われる滝を絵にされました。

審査員講評に「力強い作品で、滝の一部を大胆に表現したことが成功しています。」とありました。

今までに3人の先生に師事され、千村武則先生の教えを受けられるようになってから、50号にチャレンジされ、岩絵の具を使って描かれるようになりました。



文化センターで
依馬英子さん



東野公民館のサークル活動の紹介〔Ⅱ〕

サークル活動頑張っています。

▼ ボーチェリカ

2年でワルツ、タンゴ、ルンバに力を入れて、しっかり踊れるように頑張っています。

恵那文化センターで年一回発表会があり、恵那峡グランドホテルで、ダンスパーティがあります。

また、中津川、坂本、苗木のサークルとの交流会を行っています。

社交ダンスは体力づくりにつながり、姿勢がよくなり、ゴルフのスコアが5つくらい良くなるとのこと、3～5年つづけていますが、こんなに楽しいものがあったのかという思いです。もっと早く始めればよかったとつくづく思います。



▼ ささゆり会

市民講座が始まった最初から活動しています。

民謡と新民謡（流行歌）を踊ります。

「踊って心に灯火を」と、飯沼出身の島田豊年さんが「日本民謡会」を始め、名古屋で全国から参加する発表会があり、この会に3年に一度参加しています。



現在小林せつ子先生が日本民謡会の師範です。

舞台上立つことは、観衆の視線を浴びて女性らしさと、加えて健康と礼儀作法がみにつきます。

皆さんも一緒に踊ってみませんか。

▼ 楽しい墨絵の会

“墨に百彩あり”。一見単調な墨は大変豊かな表現力があります。

その魅力に引き込まれ、一瞬、我を忘れるような墨絵の楽しさがあります。（永野）



東野5大ニュースを募集しました。

早いもので今年も残すところわずかとなり、東野住民の皆様も今年の出来事を思い起こされていることと思います。そこで、東野の歴史を綴る目的で、公民館だよりに『東野5大ニュース』欄を企画しました。東野の歴史に残したい平成19年の出来事を、各機関・団体等に募り、5つを選んで紹介します。

I 恵那市に告知器の設置

設置を希望される世帯、事業所等に告知器が設置され（現在は部分域に設置）、運用が平成19年4月1日から開始されました。設備関係は恵那市の情報課、情報関係は広報課が担当されます。

東野は6月11日に東野地域内の運用が開始され、東野地域振興委員会の広報部会が担当して、第1回の告知放送が、「東野ほたる祭り」について放送しました。第一声は公民館の勝野さんが担当しました。ほかに振興事務所の藪下さん武馬さんがキャスターを務めます。

II ごみ不法投棄撤去作業の実施

地域協議会活動の一環として地域内の「不法投棄ごみ」の撤去作業が実施されました。

実施時期 平成19年11月11日 8:30から午前中、小雨天の中

参加団体は、東野自治連合会、開発振興会、東野生産森林組合、上下生産森林組合、東雲連合会、恵那市消防東野分団、飯沼川用水管理組合、漁業組合東野支部、美しくする会、阿木川ダム管理事務所、市不法投棄監視員

協力企業 (有)躍進、(有)光岡組、(株)小林住建(有)、渡辺土木(順不同)

実行本部 実行委員長 与合和武、副実行委員長 伊藤 明(市不法投棄監視委員)、地域協議会委員

主な場所 保古の湖地内、山ノ寺、白坂、飯沼川、阿木川ダム下を中心に5班にわけて実施。

内 容 市の収集に出せない。投棄者が判明できない長期集積のゴミ。

III 地域安全パトロール隊設立

住みよい東野をこれからもずっと守っていききたい、私達の地域は私達で守ろう、こんな地域の思いから行政の指導を受け、東野の各種団体の協力のもとに、東野地域振興委員会の中に「安全安心部会」が発足しました。東野地域の安全パトロールを、東野生産森林組合の自動車を使わせていただき、各機関、各種団体から隊員を募り、毎週金曜日の4時から6時までパトロールを実施しています。第1回は19年11月2日、足立智胤部会長、与合和武さん、西尾義夫さん、伊藤郁雄さん、千藤恵三さんが務めました。

IV 「東野道づくり委員会」の発足

地元より長年市へ要望してきた袖畑・笠作線及び清水・山ノ寺線の改良について市が総合計画で検討することになり、建設課から道路建設についての説明会が平成18年7月20日道路関係自治会長に対して行われました。その後、道路関係自治会長と地権者に対しての説明会があり、平成19年3月23日に道づくり委員会規約(案)のもとに、道づくり委員会の設置が検討され加えて委員長選考委員会の選考結果、東野開発振興会長が委員長となって「第1回東野道作り委員会」が発足しました。5月22日に第2回の道作り委員会で、現況の課題と計画について協議され、その後アンケート調査や協議が重ねられています。

V 開墾記念碑等移転

東野の開墾記念碑と戦役記念碑の建つ辺りが、道路交差点の改良工事となるに当たり、やむなく西隣の工事外区域へ移転することとなりました。恵那市で用地買収が終わり19年度に事業が完成しますが、まずは両記念碑を19年内に移転して道路工事発注はその後になります。

これにつづくニュースとして

8月11日東野夏祭りに新メニューが登場 ねぎま、トウモロコシの販売、灯籠、アルミ座椅子の購入

11月3、4日東野文化祭の「昭和30年代の衣装の特別展示」が好評

東野駅に老人介護福祉施設が建設されることが決定

文芸

花無山句会

鰯とじょう 揺る明治の人は今はなし

市川茶山

秋の旅熊野古道も老いなれど

市川芳子

明日あるを信じて夜長小豆むく

伊藤道子

炭焼きや恵那一望の岡に佇つ

西尾美恵子

おりて来し山の紅葉里もみじ

土方ちかえ

句友(とも) 叙勲祝わむ宴初紅葉

松本はるか

芋水車ゆつくり廻り秋うらら

千藤恵三

前回号掲載の市川茶山さん俳句

米寿過ぎ勲章の秋は暑かりし

は、

米寿過ぎ叙勲の秋は暑かりし

の誤りでした。

お詫びして訂正いたします。

お知らせ

◆ふるさと作品展◆

東野の児童、生徒による書初めを展示します。東野にちなんだ題材を書いた力作がそろいます。ぜひご覧下さい。

とき：1月11日(土)

～24日(木)

ところ：東野公民館ロビー



Little Lovely Topics

藤井さん家のヤマト君
一歳の男の子
毎日元氣一杯、ご主人様と一緒に公民館前をお散歩で通ります。すっかりみんなの人気者
おてて、ください、おまわり、おすわり
などいろいろ芸ができます。
立派な尻尾で、
自分のだいすきな
尻尾に向かって
くるくる回ります。



休館日

(変更の場合あります)

年未年始休館日 12月28日～1月3日

1月	1～3日・7日・15日 16日・21日・28日
2月	4日・12日・13日 18日・25日
3月	3日・10日・17日 21日・24日・31日

編集後記

公民館に勤めて気付いたことの一つが、公民館だよりが果たしている役割です。今年の10月100号記念誌を出すに当たって、公民館の主な事業である、市民講座の変遷と東野の主な出来事を綴ってみようと、『東野公民館報』『公民館報ひがしの』『公民館だよりひがしの』を見返してみました。

しかし、公民館で保存している過去の公民館広報が少なからず欠号していることがわかりました。また、過去の東野の事業や出来事の起こりや経過、結果というものを綴って後世に残そうとしても、大切なところが、資料の欠損のため、よい仕事ができないこともわかりました。

これをうめようと、他の資料を探したり、公民館を訪れる方々等にお聞きしても、史実を正確にうめることができませんでした。

また、歴史を綴る作業を進めるに当たって、東野が発展してきた歴史を一貫して綴ってある資料が、現在のところ公民館広報以外に見当たりません。

このことから、公民館広報が、幾久しく、東野の歴史を後世に伝えつづけていく大切な役割を担っていると思えました。

このことを踏まえて、19年の年末号から、東野の歴史を綴りつづけるために、毎年東野のニュースを各機関・団体等から募集し、上位の5つを5大ニュースとして掲載することを企画しました。

今年は、取り掛かりが遅く、幅広く募集することができなくて、他に大切なことがあるかもしれませんが、このことも含めて、この企画にご意見等お寄せいただければ幸いです。

公民館長から